

全国植樹祭の概要について



愛媛県 農林水産部 森林局 森林整備課

1

説明内容

- 1 全国植樹祭とは
- 2 過去の愛媛県での開催状況について
〔昭和41年 第17回全国植樹祭〕
- 3 近年の開催状況について
 - ・先催県の開催状況
 - ・第73回全国植樹祭いわて2023
- 4 第76回全国植樹祭に向けて
 - ・これまでの経緯
 - ・第76回全国植樹祭基本構想〔令和5年3月策定〕
 - ・開催までのスケジュール

2

1 全国植樹祭とは

- 全国植樹祭は、豊かな国土の基盤である森林・緑に対する国民的理解を深めるために行う **国土緑化運動の中心的行事**
- 毎年春に、**天皇・皇后両陛下の御臨席のもと開催**されている。
- 四行幸啓の一つ
(全国植樹祭、国民体育大会、全国豊かな海づくり大会、国民文化祭)

● 主催

公益社団法人国土緑化推進機構及び開催都道府県

● 開催時期

毎年春(5～6月)の日曜日

● 開催行事

- ・式典行事 : 両陛下によるお手植え・お手播き、天皇陛下のおことば、緑化功労者等の表彰、大会宣言 等
- ・植樹行事 : 記念植樹
- ・関連行事 : 歓迎レセプション、プレイベント、全国林業後継者大会 等

3

2 過去の愛媛県での開催状況について

- 大会名 第17回全国植樹祭
- 開催日 昭和41年4月17日(日)
- 開催場所 愛媛県温泉郡久谷村
(現 松山市久谷町)
- 参加者 約13,000人
- 大会テーマ 精英樹による拡大造林
- お手植え樹種 スギ
- お手播き樹種 スギ、ヒノキ、アカマツ、クロマツ



昭和天皇・香淳皇后両陛下による記念植樹(スギ)



一般招待者による植樹

4

2 過去の愛媛県での開催状況について



S41年



R4年

式典会場(松山市久谷町)の移り変わりの様子

前回大会を契機として、県内の林業や緑化運動は大きく発展し、全国有数の林業県へと成長を遂げました。



5

2 過去の愛媛県での開催状況について

● 地方御視察



高浜港



愛媛県庁



護国神社



道後公園



松山市老人福祉センター



県果樹試験場

6

3 近年の開催状況について

回数	開催年	開催県	開催場所	開催規模
64	平成25	鳥取県	とっとり花回廊(西伯郡南部町・伯耆町)	7,209人
65	平成26	新潟県	長岡産業交流会館(長岡市) 【屋内会場】	4,281人
66	平成27	石川県	木場潟公園(小松市)	10,887人
67	平成28	長野県	長野市オリンピック記念アリーナ(長野市) 【屋内会場】	5,702人
68	平成29	富山県	魚津桃山運動公園(魚津市)	7,410人
69	平成30	福島県	海岸防災林(南相馬市)	8,144人
70	令和元	愛知県	愛知県森林公園(尾張旭市・名古屋市守山区)	9,326人
71	令和3	島根県	三瓶山(さんべさん)北の原(大田市)	2,211人
72	令和4	滋賀県	鹿深夢(かふか)の森(甲賀市)	3,055人
73	令和5	岩手県	高田松原津波復興祈念公園(陸前高田市)	4,103人
74	令和6	岡山県	ジップアリーナ岡山(岡山市) 【屋内会場】	4,000人
75	令和7	埼玉県	秩父ミュージックパーク(秩父市)	5,000人
76	令和8	愛媛県	【開催候補地】愛媛県総合運動公園(松山市)	5,000人

新型コロナ対策による縮小開催

実績
↑
↓
計画

※開催規模は県内外招待者、協力者、スタッフ等を含めた人数

※第74回大会以降の開催規模は、計画段階のもの。

3 近年の開催状況について

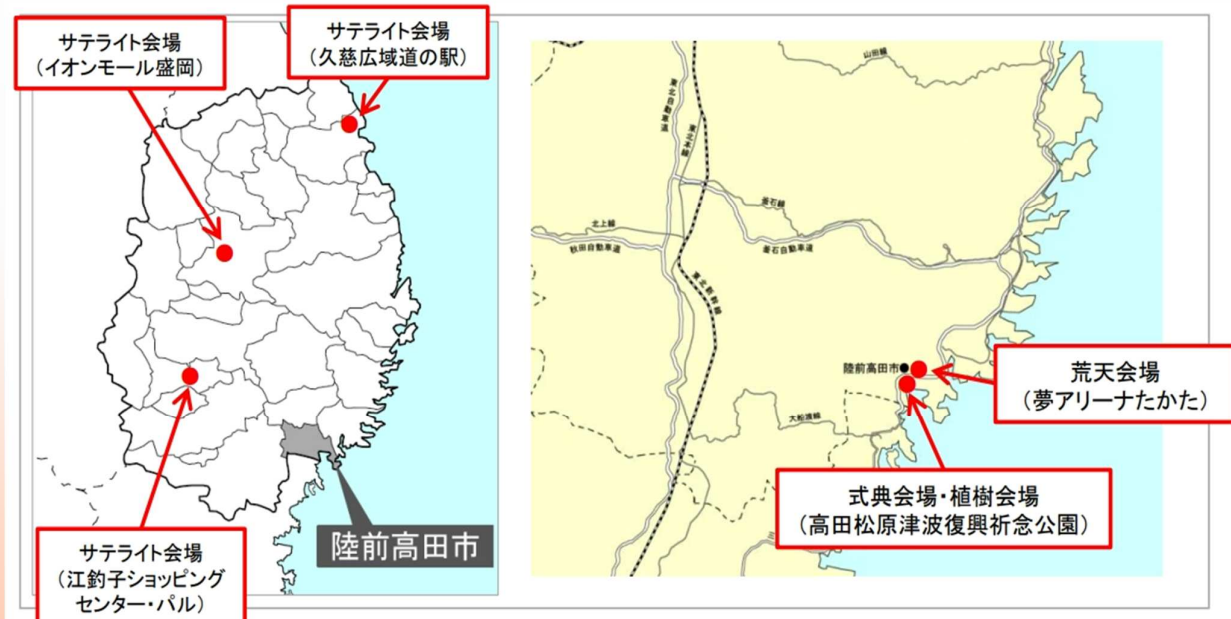
- 開催日 令和5年6月4日(日)
- 開催場所 高田松原津波復興祈念公園(陸前高田市)
- 参加人数 4,103人



区分	参加者数	内 訳
県外招待者	566人	国関係者、被表彰者、他県招待者 等
県内招待者	1,146人	県関係者、市町村関係者、学校関係者、森林・林業・緑化関係団体、公募招待者、県実行委員会 等
実施本部員・協力員 等	2,391人	実施本部員、出演者、協力員 等
合 計	4,103人	

3 近年の開催状況について

● 開催会場位置図



3 近年の開催状況について

● 式典会場

⇒式典会場では、式典行事、天皇皇后両陛下によるお手植え、お手播き行事を実施するとともに各種の展示PR等を行うおもてなし広場を設置し、招待者を歓迎します。

高田松原津波復興祈念公園(陸前高田市)

東日本大震災からの復興の象徴となる復興祈念公園

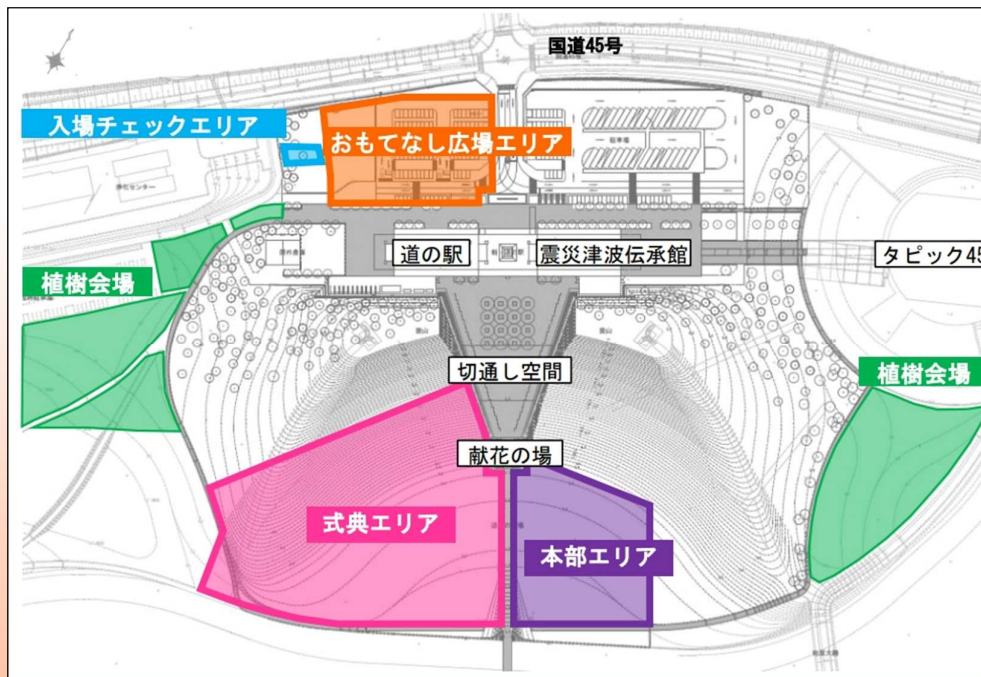
7万本の松のうち「奇跡の一本松」が残ったこの場所で、東日本大震災津波の犠牲者への追悼と鎮魂や、震災の記憶と教訓の後世への伝承とともに、国内外に向けた復興に対する強い意志を発信するため、国・岩手県・陸前高田市が連携して、整備しました。



3 近年の開催状況について

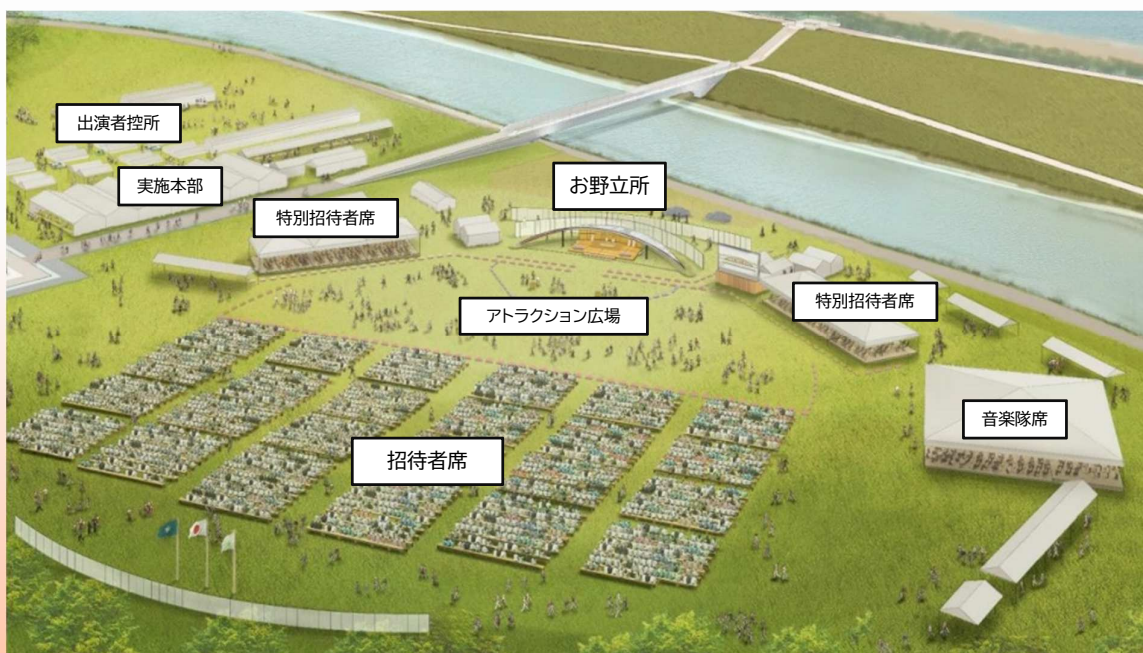
- 式典会場(エリア図)

「式典エリア」「本部エリア」「おもてなし広場エリア」「植樹会場」の4つのエリアに分けています。



3 近年の開催状況について

- 式典会場(イメージ図)



3 近年の開催状況について

● 式典行事概要

1. プロローグ ～感謝～ 「ありがとう いわてからの感謝状、」 13:00～14:00(60分)



歓迎と感謝のことば
(陸前高田市市長挨拶)



プロローグアトラクション①



プロローグアトラクション②



感謝状の贈呈①



感謝状の贈呈②



記念切手の贈呈

3 近年の開催状況について

● 式典行事概要

2. 記念式典 ～誓い～ “緑をつなごう 輝くイーハトーブの森から” 14:00～15:00(60分)

(内容)

- ・ 開会のことば
- ・ 主催者挨拶(大会会長、県知事)
- ・ 天皇陛下のおことば
- ・ 表彰(緑化功労賞、全日本学校関係緑化コンクール等)
- ・ 天皇皇后両陛下 お手植え・お手播き
- ・ 大会宣言
- ・ リレーセレモニー(後催県への引続き)
- ・ 閉会のことば 等



主催者挨拶(大会会長:衆議院議長)



主催者挨拶(岩手県知事)



三旗掲揚(緑の少年団、ボーイスカウト、ガールスカウト)

3 近年の開催状況について

● 式典行事概要

2. 記念式典 ～誓い～ “緑をつなごう 輝くイーハトーブの森から” 14:00～15:00(60分)



天皇陛下のおことば



表彰(緑化功労賞、各種コンクール)



天皇陛下によるお手植え



皇后陛下によるお手播き

15

3 近年の開催状況について

● 式典行事概要

2. 記念式典 ～誓い～ “緑をつなごう 輝くイーハトーブの森から” 14:00～15:00(60分)



大会テーマの表現



大会宣言



リレーセレモニー



閉会のことば

16

3 近年の開催状況について

● 式典行事概要

3. エピローグ ～希望～ “みどり輝く未来へ向けて”

15:00～15:30(30分)



花巻農業高校鹿踊部



森林・林業取組紹介((株)小友木材店)



森林・林業取組紹介((株)柴田産業)



大会テーマソングの歌唱

17

3 近年の開催状況について

● 式典会場

お野立所とは

- ⇒ 全国植樹祭の式典会場で、天皇・皇后両陛下が着座される場所のこと。
- ・会場の中でも極めてシンボリックな位置付けとなるため、開催県が地域の特色を生かした木造構造物を設営する。

【お野立所(岩手県)】

- ✓ 三日月形の屋根は、伸びやかで明るい未来を表現し、海から陸に伸びる屋根のラインは、岩手県の宝である森・川・海の繋がりと、力強く未来へ向かう岩手県民を表現しています。
- ✓ 屋根や壁、床面には、岩手県産木材を使用し、柔らかな質感で仕上げ、「あたたかな県民性」を表しています。



R5 岩手県(陸前高田市)



R4 滋賀県(甲賀市)



R3 島根県(大田市)



R元 愛知県(尾張旭市・名古屋市)

18

3 近年の開催状況について

● 植樹行事

(1) 天皇皇后両陛下によるお手植え



天皇陛下によるお手植え



皇后陛下によるお手植え

	樹種	樹種の概要
天皇陛下	南部アカマツ	岩手県の県の木として、広く県民に親しまれている。昭和49年に開催された第25回全国植樹祭でも天皇皇后両陛下がお手植えされた。
	カシワ	寒冷地の気候に強く、気仙地域等沿岸部にも群生しており、新芽が出る翌春まで古い葉が落ちないことから、子孫繁栄を象徴する縁起物とされている樹種。
	タブノキ	常緑広葉樹で、耐潮性、耐風性に優れることから、沿岸部に密生している。岩手県山田町のタブノキの一部は、東日本大震災津波を受けても、生き残り、震災復興を象徴する存在のひとつとなっている。
皇后陛下	ベニヤマボウシ	陸前高田市は、ベニヤマボウシ原木が江戸時代末期に採取されたことから、発祥の地とも言われ、植樹会が開催されるなど市民に親しまれている。
	ハナヒョウタンボク	国内では、岩手県と長野県の一部に分布する樹種。国の絶滅危惧Ⅱ類に指定されており、希少、貴重な樹種で、その名は二つ付く実がヒョウタンの形に見えることに由来します。
	ミチノクナシ	国の絶滅危惧ⅠB類に指定される貴重な樹種。宮沢賢治の童話「やまなし」でも親しまれ、東日本大震災津波の復興支援で沿岸部の学校に苗が提供された。

3 近年の開催状況について

● 植樹行事

(2) 天皇皇后両陛下によるお手播き



天皇陛下によるお手播き



皇后陛下によるお手播き

	樹種	樹種の概要
天皇陛下	オオヤマザクラ	ヤマザクラより、花も葉も大きく、本州中部以北に分布する北国を代表するサクラのひとつ。岩手県で前回行われた全国植樹祭において、天皇皇后両陛下にお手植えされた樹木から採取した種子で今回お手播きされた。
	ケヤキ	木目の美しさから建築材や岩手県の伝統工芸品等に利用される岩手の林業を支える主要な広葉樹のひとつ。
皇后陛下	ヤブツバキ	開催地である陸前高田市の花にも選ばれるなど気仙地方を代表する常緑広葉樹。岩手県宮古市が太平洋岸の北限。
	ハマナス	岩手県沿岸部の砂地に群落をつくり、香料の原料にもなる大きな花を持っています。東日本大震災津波から生き残る力強さは、復興を象徴します。

3 近年の開催状況について

● 植樹行事

(3) 代表者記念植樹

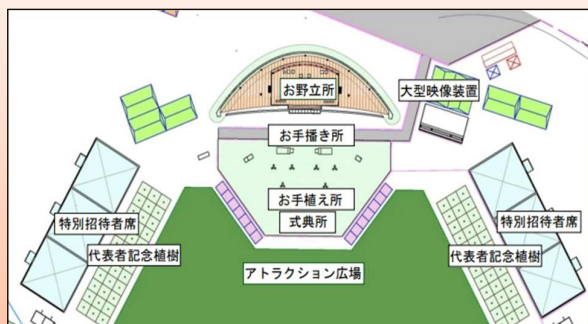
- 特別招待者の代表は、天皇皇后両陛下の2本目のお手植えと同時に記念植樹を行う。
- 樹種は、天皇皇后両陛下と同じ樹種により実施。



代表者記念植樹①



代表者記念植樹②



会場レイアウト図

3 近年の開催状況について

● 植樹行事

(4) 招待者記念植樹

- 県内外からの招待者が、1人1本以上の記念植樹を大会当日の式典前に実施。
- 苗木のスクールステイにより、子供たちが育てた苗木も使用



招待者記念植樹①



招待者記念植樹②



植樹会場受付

会場名	招待者区分	本数	主な樹種
高田松原津波復興祈念公園	県外招待者 県内招待者	約3,000本	オオバクロモジ、オオヤマザクラ、ドウダンツツジ、ナツハゼ、ヒメアオキ、ヤマザクラ、ヤマツツジ 等 計32種
高田松原運動公園	県内招待者	約300本	エノキ、オオヤマザクラ、ケヤキ、コナラ、タブノキ、ブナ、ベニヤマボウシ、ミズナラ、ヤマザクラ 等 計17種

3 近年の開催状況について

● おもてなし広場

- ・ 式典エリアの北側に、おもてなし広場を設置し、総合案内所やステージ、ブース出展のほか、様々な木製装飾物を配置
- ・ 岩手県の森林づくりや復興への歩み、郷土芸能、観光情報を招待者に広くPR



おもてなし広場



おもてなしステージ(岩泉高校伝統芸能同好会)



ウェルカムボード



出展ブースの様子

3 近年の開催状況について

● サテライト会場

- ・ 式典参加者のみならず、多くの県民の方々に全国植樹祭を身近に感じてもらうため、岩手県内3カ所にサテライト会場を設置
- ・ 式典中継のほか、木工製品の展示、森林林業パネル展示、音楽イベント等を実施



盛岡会場
(イオンモール盛岡)



北上会場
(江釣子ショッピングセンター・パル)



久慈会場
(道の駅いわて北三陸:地元小学生による記念植樹)

3 近年の開催状況について

● 大会に向けた機運醸成

苗木のスクールステイ

苗木のスクールステイとは、全国植樹祭や関連する植樹行事で使用する苗木を、県内の緑の少年団や小中学校の皆様にご育ていただき、森林の役割や森林づくりの大切さを子供たちに普及啓発する取り組み。



釜津田自然愛護少年団(岩泉町)



実施の様子

3 近年の開催状況について

● 大会に向けた機運醸成

1年前記念イベント

- ・日時 令和4年7月9日(土)
- ・場所 岩手県民の森
(S49年の第25回全国植樹祭開催地)
- ・内容 ①式典行事
⇒代表者記念植樹、木製地球儀リレー出発式、大会テーマソング発表 等
- ②PRイベント
⇒第73回全国植樹祭のPR、林業体験、木工教室、郷土芸能、ダンスパフォーマンス 等



木製地球儀の引き渡し



大会テーマソング発表

協賛募集

- ①協賛の種類
・資金協賛、物品協賛、その他協賛
- ②募集期間 令和3年9月～令和5年3月
- ③協賛の特典
協賛金額に応じて、
・式典当日の特別招待者枠の確保
・全国植樹祭支援呼称・シンボルマーク等の仕様 等



感謝状贈呈式

4 第76回全国植樹祭に向けて

(1) これまでの経緯

日付	内容
令和4年2月15日	第76回全国植樹祭の誘致を表明
令和4年5月26日	国土緑化推進機構に開催申出書を提出
令和4年8月8日	国土緑化推進機構理事会で本県開催が内定
令和4年10月14日	第1回準備委員会を開催
令和5年1月23日	第2回準備委員会を開催
令和5年3月27日	第3回準備委員会を開催し、「 第76回全国植樹祭基本構想 」を策定
令和5年8月8日	国土緑化推進機構理事会で 本県開催が正式決定

27

4 第76回全国植樹祭に向けて

(2) 第76回全国植樹祭基本構想〔令和5年3月策定〕

●開催理念

- ① 国民の森林・林業に対する理解を深め、森林の整備や森林資源の循環利用を一層推進していく契機とし、持続可能な社会の実現につなげていきます。
- ② 霊峰石鎚山を頂点とする四国山地の豊かな森林を、健全な姿で次の世代にしっかりと引き継げるよう、県民参加による森づくりを推進します。
- ③ 森林が育む愛媛の自然や文化、産業を県内外に発信し、全国の方々との「絆」を深める「愛顔(えがお)」あふれる大会とします。

●開催候補地 愛媛県総合運動公園 (松山市上野町)

●開催規模 5,000人

●開催時期 令和8年春季 ※開催日は令和7年に決定の予定

28

4 第76回全国植樹祭に向けて

(3) 開催までのスケジュール

